

海の森の概要

協働による森づくり



計画の概要

- 位置：中央防波堤内側埋立地の東側部分
- 面積：約149ha（うち、陸域約95ha、水域約54ha）
森づくりエリア約50ha
- 樹種：スダジイ、タブノキ、エノキ等 約24万本を植樹

経緯

- 平成17年 2月 「中央防波堤内側 海の森公園（仮称）構想」策定
- 平成19年 2月 「海の森公園」として海上公園計画を告示
- 7月 「海の森募金」開始
- 平成20年 5月 植樹イベント開始（毎年春と秋に実施）
- 平成23年 3月 募金終了（目標額5億円を達成）
- 平成25年 12月 『東京都海の森倶楽部』発足
- 平成28年 3月 植樹イベント終了

東京都海の森倶楽部

海の森事業にご賛同いただく企業・団体が会員となる倶楽部。会員主催の多様で魅力的なイベントが実施され、多くの皆さまに海の森をご紹介、お越しいただいております。



江東区青海三丁目地先 中央防波堤内側埋立地
※現在は整備中のため通常は立ち入ることはできません。



港湾局臨海開発部海上公園課

〒163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号

☎ 03(5320)5590 FAX03(5388)1577

<http://www.kouwan.metro.tokyo.jp/kanko/uminomori/>

◆海の森リーフレット◆

平成31年(2019年3月)発行

発行 東京都港湾局臨海開発部海上公園課

印刷 株式会社シンソークリエイト

登録番号 (30) 21



海の森 UMINOMORI



基盤整備が進む「海の森」プロジェクト

東京港に浮かぶ、ごみと建設発生土で埋め立てられた「ごみの山」に苗木を植え、美しい森に生まれ変わらせる計画が「海の森」プロジェクトです。次の2つのコンセプトに基づいて、整備を進めています。

資源循環型の森づくり

都内の公園や街路樹の剪定枝葉から堆肥をつくり、建設発生土に混合して土づくりを行うなど、リサイクルの視点を大切にした、資源循環型の森づくりに取り組んでいます。

市民参加による協働の森づくり

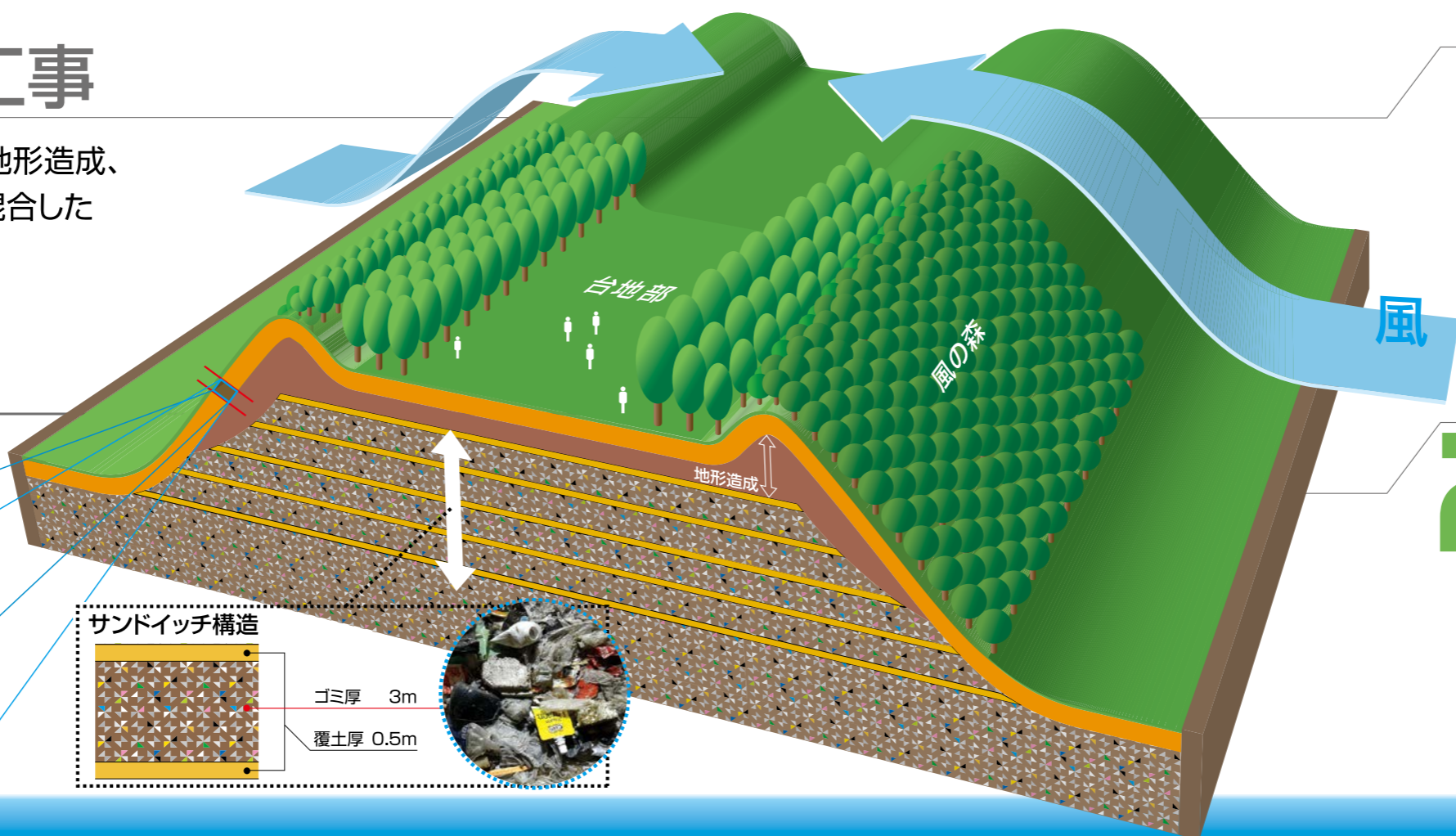
苗木づくりから植樹、森の育成までを都民や企業との協働で行う、市民参加型プロジェクトも進行中です。

海の森の基盤工事

主として建設発生土を用いた地形造成、剪定枝葉からつくった堆肥を混合した植栽基盤を整備しています。

植栽基盤断面図 ※混合割合は、その年によって多少変わります。

堆肥による土づくり 厚さ 1.5m	
マルチング堆肥	100%
植栽表層土	
優良土	80%
堆肥	20%
植栽基盤土	
建設発生土	70%
堆肥	20%
土壌改良材	10%



サンドイッチ構造

ゴミ厚 3m
覆土厚 0.5m

「海の森」の植栽基盤土

「海の森」は昭和48年から昭和62年にかけて1,230万トンのごみと建設発生土などを交互に埋め立てるサンドイッチ構造で造成した埋立地です。高さ30メートルの「ごみの山」を森にするために、堆肥、土壌改良材、優良土、建設発生土を配合した厚さ1.5メートルの表層土による植栽基盤づくりを進めています。完成までに必要な堆肥は、街路樹から発生する剪定枝葉を肥料化したものを活用。資源循環とコストカットを実現しました。

2 広場を海の風から守る「風の森」の優先的整備

「海の森」の中央部には、イベント会場やいこいの場となる「つどいのくさ原」や、林間レクリエーションが楽しめる「ふれあいの森」があります。基盤整備では、海からの強風や塩分を含む風からこれらの広場を守るために、土塁を設け、強風や塩害に強い常緑樹を植えた「風の森」の整備を優先的に進めています。「風の森」が防風・防潮林としての役割を果たすことで、広場の植物や環境が守られ、イベントの開催や市民の参加を容易なものにしているのです。

海の森 樹木と生きもの

植栽の考え方

海に面し、強い潮風が当たる「風の森」という斜面林では、シヤやタブノキを中心とした海岸性の森づくりが進められています。苗木は関東地区産のものを選定し、遺伝子のかく乱を防いでいます。潮風に強い樹木が生長すると、それらに守られるように他の植物が育ち、やがて昆虫や鳥をはじめとした多くの動物が集まってきます。既に多くの生物が確認されており、少しずつ多様性に富む森へと変化しています。

主な樹種

潮風への抵抗性があるタブノキなどの常緑樹を主体に、オオシマザクラやヤマグワなどの落葉樹も混ぜて植栽し、混交林を目指しています。生き物に配慮した「観察と保全の森」では、ヤマモモなど鳥や昆虫の食餌木となる樹種も多く植えています。さまざまな自然の力を得ながら、豊かで多様性のある森を育てていきます。

▶ 潮風に強い樹木



▶ 鳥が集まる花



▶ 鳥が集まる果実



「海の森」に生息する生きもの

海の森づくりによって、さまざまな生きものが暮らす豊かな環境が育まれています。



都民、企業との協働による森づくり

「海の森」では、苗木づくりから植樹、森の育成までを、都民や企業との協働で行っています。都民や企業からの募金により苗木を購入するほか、小学生や苗木づくりボランティアの方々にドングリからの育成を依頼。植樹作業やその後の管理も、都民や企業、団体の協力を得て実施しています。



東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会

海の森は、東京2020大会において、総合馬術(クロスカントリー)及びボート・カヌー(スプリント)の会場ともなっています。



平成29年12月時点イメージ図 (出典:東京都)